

てつどうしゃりょうせいびしょくしゅ
鉄道車両整備職種

例

そうこうそうちけんしゅう かい そうさぎょう
走行装置検修・解ぎ装作業

じつぎしけん もんだいようし
実技試験 問題用紙

せんもんきゅう
【専門級】

じゅけんばんごう 受験番号	なまえ 名前

つぎ しけんじかん ちゅういじこう したが かだい おこな
次の<試験時間><注意事項>に従って課題を行ってください。

しけんじかん
＜試験時間＞

かだい 課題	かだいめい 課題名	しけんじかん 試験時間	
		ひょうじゆんじかん 標準時間	うちきりじかん 打切時間
1	こうぐるいとあつかせんたくはいちさぎよう 工具類の取り扱い、選択、配置作業 (せいさくとうさぎようしけん 製作等作業試験)	5 ^{ふん} 分	5 ^{ふん} 分
2	ざいりようせんたくはいちさぎよう 材料の選択、配置作業 (せいさくとうさぎようしけん 製作等作業試験)	5 ^{ふん} 分	5 ^{ふん} 分
3	ききけんしゅうかいそうさぎよう 機器検修・解き装作業 (せいさくとうさぎようしけん 製作等作業試験)	3 5 ^{ふん} 分	5 5 ^{ふん} 分
4	さぎようごかんきようせいびさぎよう 作業後の環境整備作業 (せいさくとうさぎようしけん 製作等作業試験)	1 0 ^{ふん} 分	1 0 ^{ふん} 分
5	ききけんしゅうかいそうさぎよう 機器検修・解き装作業 (はんだんとうさぎようしけん 判断等作業試験)	3 ^{ふん} 分	3 ^{ふん} 分
6	ききけんしゅうかいそうさぎよう 機器検修・解き装作業 (はんだんとうさぎようしけん 判断等作業試験)	2 ^{ふん} 分	2 ^{ふん} 分

＜注意事項＞

1. 問題用紙には、受験番号と名前を書いてください。
2. 試験時間は、「60分」とします。
3. 問題数は、6問です。
4. 各問題には制限時間が決められています。
5. 各問題の作業が終わったら試験官に伝えてください。
6. 問題用紙は、試験が終わったら集めます。
7. 試験問題は試験官が指示をします。よく聞いて作業をしてください。
8. 標準時間を超えて作業を行った場合は減点します。
9. 分からないことがあったら、手をあげて試験官に聞いてください。ただし試験の内容についてはお答えできません。
10. 器具の取扱いの際にはけがに注意して、あせることなく作業してください。
11. 実際の作業現場と同じように安全に作業してください。
12. 体調が悪くなったら伝えてください。

＜試験問題＞

1. 工具類の取り扱い、選択、配置作業
「工具類の選択作業」

・試験官の指示に従い工具を選択して下さい。

2. 材料の選択、配置作業
「材料の選択作業」

・試験官の指示に従い材料を選択して下さい。

3. 機器検修・解ぎ装作業
「機器検修作業」

- ・ 輪軸の車輪内面距離及びフランジ高さを測定して、測定した値を問題用紙の解答欄に記入してください。必要に応じてウエスなどを使用してください。

<解答欄>

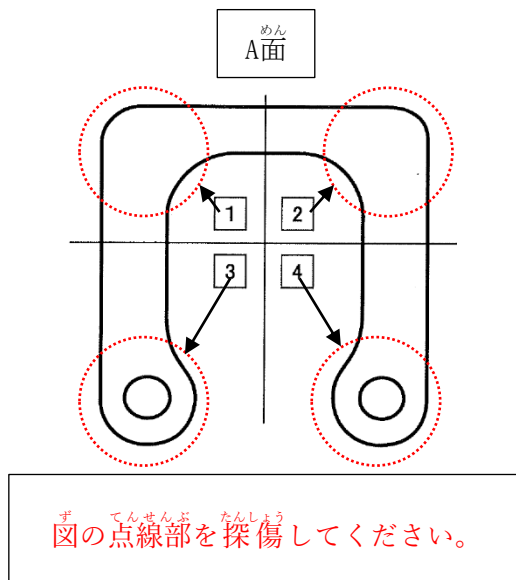
番号	測定項目	部位	測定値 (mm)
1	車輪内面距離		
2	フランジ高さ	1 位	
3		2 位	

<メモ>

- 下図の1から4の点線で囲った範囲について磁粉探傷を行い、キズの有無を問題用紙の解答欄に記入してください。

- 検査方法はJIS Z2320-1の極間法（可搬形）、蛍光磁粉（湿式法）で行ってください。A形標準試験片（A1-7/50（円形）JIS 22320-1）により検査機器が正しく検査できるか事前確認し、探傷面に作用している磁界の方向、強さを確認してください。必要に応じてウエスなどを使用してください。

<解答欄>



箇所	キズの有無	
1	あり	なし
2	あり	なし
3	あり	なし
4	あり	なし

キズの有無について、「あり」か「なし」に○をつけてください。

4. ^{さぎょうご}作業^{かんきょうせいびさぎょう}後の環境整備作業
「^{さぎょうご}作業^{かんきょうせいびさぎょう}後の環境整備作業」

- ・^{せいり}整理・^{せいとん}整頓・^{せいそう}清掃^{おこな}を行^{ひつよう}って^{おう}ください。必要^{う え す}に応^{しょう}じてウエスなどを使用^{しょう}して
ください。

5. ^{ききけんしゅう}機器検修^{かい}・^{そうさぎょう}解^{はんだんとうしけん}ぎ装^{はん}作業^{はん}（判断等試験）
「^{かいそうさぎょう}解装^{はん}作業^{はん}」

- ・^{しけんかん}試験官^{さぎょうじょうきょう}が作業^{しゃしん}状^{しめ}況^{しめ}の写^{てきせつ}真^{さぎょうほうほう}を^{こた}示^{こた}しますので、適^{こた}切^{こた}な作^{こた}業^{こた}方^{こた}法^{こた}を^{こた}答^{こた}えて^{こた}く^{こた}だ
さい。

6. ^{ききけんしゅう}機器検修^{かい}・^{そうさぎょう}解^{はんだんとうしけん}ぎ装^{はん}作業^{はん}（判断等試験）
「^{そうさぎょう}ぎ装^{はん}作業^{はん}」

- ・^{しけんかん}試験官^{さぎょうじょうきょう}が作業^{しゃしん}状^{しめ}況^{しめ}の写^{てきせつ}真^{さぎょうほうほう}を^{こた}示^{こた}しますので、適^{こた}切^{こた}な作^{こた}業^{こた}方^{こた}法^{こた}を^{こた}答^{こた}えて^{こた}く^{こた}だ
さい。